



# おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告  
2011年1月31日号

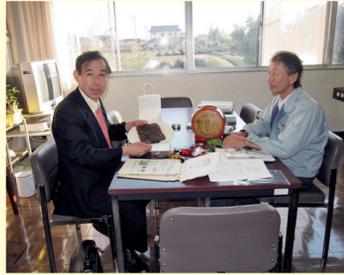
静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。



# おち あい しん ご 落合慎悟



## 落合県議のトップ対談



静岡県農林技術研究所茶業研究センター  
中村順行センター長(農学博士)  
1月12日(水)14時~16時

牧之原台地(菊川市倉沢)にある茶業研究センターは明治41年に県立農事試験場茶業部として創設、茶の栽培・製造試験を開始した。玉緑茶・紅茶試験、炒り蒸機の試作実現など研究を重ね、昭和38年から省力製茶法確立のため、自動化・大型機械の開発研究を開始した。最近では「さわみずか」晩生種「山の息吹」早生種「つゆひかり」やや早生種など品種改良に取り組む。

今回は研究センターが15年前に研究開発した「海苔状にした食べるお茶」の調査が目的。中村センター長から当時開発した「海苔状で割ってお湯に入れて飲むお茶」と「ペースト状にしてハート型などに真空パックしたお茶」の現物と当時の製造機械を見せてもらった。私が想像していた「板状にして食べるお茶」とは違っていましたが、製造の考え方を教えてもらった。更にお茶講義を聴き、茶活用の可能性や短冊形にした食べるお茶の製作研究について協力を得たいと思う。

お茶の特性は光の色によってアミノ酸の生成される量が大きく変わることや砂糖の成分であるトレハロースを添加結合することで緑色が酸化変色しないことなどを教えて頂いた。

現在、光の色を制御するフィルターネットでお茶を被覆して栽培し、甘みのあるお茶や緑のきれいなお茶を栽培研究している。

また日本のお茶は明治時代から昭和30年代までは現在の中国茶と同様な青茶や釜入茶、蒸茶など100種類くらい色々なお茶があった。しかし40年代に入り大型製茶機で大量生産するようになり、現在の形状に統一された。

昨年、私はバりに茶市場調査を行い、フランス人は多彩な中国茶を好み、日本の煎茶には興味を示されなかった。しかし持参した玉露は独特の甘さや綺麗な緑色を大変気に入ってくれた。お茶には形や色、香りなどの個性が必要と感じた。

「お茶の効能」1月12日放映NHK「ためしてガッテン」  
ガン死亡率の低さランキング(人口10万人以上の市)  
日本医療政策機構調べ

- |      |             |      |          |
|------|-------------|------|----------|
| (男性) | 1位 東京都 国分寺市 | (女性) | 静岡県 掛川市  |
|      | 2位 静岡県 掛川市  |      | 静岡県 藤枝市  |
|      | 3位 静岡県 藤枝市  |      | 沖縄県 うるま市 |
- お茶に含まれている成分と効能
1. Bカロテン 抗酸化作用
  2. ビタミンE 血行促進作用や免疫機能改善効果
  3. クロロフィル 腸内環境を整える働き



10年前に試作した「食べるお茶」と「ペースト状のお茶製品」  
研究センターの工場にある当時の試作用製造機械

センター長が中国土産で頂いた茶函と色々な種類の中国茶。お茶の種類も珠茶、白茶など沢山あり、味や香りが楽しめてなかなか良いと感じた。日本の緑茶も形状や香り、味など多品種に拡大したい。

## 1月21日(金)谷稲葉でイノシシが2頭捕れました。



1月21日の朝、猟友会員から猪が捕れたとの電話が入り、すぐに谷稲葉の山まで見に行きました。まだ小さな猪でした。檻式のワナは米カマで誘い、ワナの中に扉がしまるワイヤーを仕掛けてあります。ワナを仕掛けても毎朝見に行かなければならないため、大変です。仕留めた猪もトラックの場所まで引きずって運び、沢で皮を剥ぎ、処理するのにも苦労です。猟友会員も有害猪を捕るのは農家のために頑張っています。

今年度、藤枝市では捕獲檻を10台購入し、貸出す予定です。ワナ免許を持たれている方は藤枝市にご相談ください。

猟友会の方も禁猟区であっても有害として認定できれば、年中駆除の許可が出ますのでご相談ください。

## 1月10日(祝)瀬古「どんと焼き」祭り



瀬古の自治会主催で昨年に引き続き「第2回どんと焼き」が瀬川河原で開催されました。

正月の飾り、しめ縄を持ち寄って燃やし、空高く燃え上がる炎、煙に健康と幸せを願い、残り火で竹に挟んだ餅を焼いて食べれば1年間健康で過ごせるとの言い伝えから、瀬古の自治会は3世代交流事業の一環として昨年から始めました。

5町内会より選出された兎年の12歳から72歳までの男女6人による一斉点火が始まります。

底辺直径3m、孟宗竹13本を円錐状に立てて高さは7mになります。御餅を焼いて楽しんでいました。

## 12/5 藤枝市民まちづくり勉強会 報告



食と笑顔で健康な街づくり  
落合県議の県政報告

今回、初めて生涯学習センターで開催しました。皆さん車で来るため駐車場の場所が必要です。文化センターでは有料駐車場に置いても満車になります。私の県政報告は要点を短く話そうにして、30分間近況報告をおこないました。

神谷料理研究所の神谷信将先生の講演は20年前に最初に出会ってから私の事務所の主催だけでも4回目です。今までに1,300回余も講演を行っているそうです。

先生のお話は大変元気の出る「食」を中心とした楽しい講演です。今回は「まちづくり」というテーマにいただきました。

1月1日午前0時、恒例の豊川稲荷に初詣。今年は息子と娘と参拝してきました。

## 落合政経塾 2月2日(水)、3月2日(水)、4月13日(水) 参加者募集



毎月第一水曜日午後7時から政治経済の勉強会を開催しています。最初に昨年まで参議院事務局首席調査官の高塚氏が政治講演をします。女性の参加者が増えました。お互いの意見交換も楽しみです。年齢問いません。ぜひご参加ください。

## 落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
<http://www.ochiai-shingo.jp>



1月3日の静岡新聞記事「バブル崩壊後の社会変貌」『錯誤の20年！日本はどこへ』  
平均給与446万円⇒405万円、税込59.8兆円⇒37.4兆円、社会保障給付費50.1兆円⇒94兆円。  
国の借金224兆円⇒882兆円、1人当たりGDP4位⇒16位、国際競争力1位⇒27位、株価は半値に。  
県内企業は20年で4割減少11,200社。雇用も税収も減る訳です。企業対策が必要。

皆様、お変わりなくお過ごしですか。私は相変わらず志太地域の為、まちづくりに挑戦しています。県議として早4年、皆様の願いの実現に「県議として何が出来るのか」法律を変えなければ変わらないこともありますが、市・県の行政職員の知恵と協力が得られれば、できなかったことも可能になります。その一番良い例が、昨年3月完成の藤枝駅前通りの駐車禁止時間帯解除区画です。商店街振興組合・駅前地区の住民5300人からの署名、県警・警察署、市長・市議会の協力によって実現しました。

今年は「嘯む茶とお茶ガム」の更なる研究、農作物の輸出支援を始め、要望の多い調整地域の見直しについては、「ゲリラ豪雨対策として住居地域の田んぼを保全」政策で県の考え方を訴えます。

また私は昨年11月に藤枝商工会議所の3年任期の地域振興委員長に任命されました。今まで関係の薄かった商工業と農業の連携を図り、地場産業の発展、新商品創造、キャリア教育も取組みます。昨年は県内企業が8%も減りました。企業に仕事が大きく減っています。今こそ公共投資・経済政策が必要です。この時期に消費税を上げるような愚策では更に消費が落ちて企業が破たんします。諸問題をたくさん抱えています。精一杯頑張ります。ご支援をよろしくお願い申し上げます。



過疎・中山間地視察で山の中腹の家まで乗用型モノレールに乗る

## 12月県議会 補正予算一般会計266億6100万円は国の円高・デフレ対策対応のための緊急総合経済対策に呼応した。



12月議会の主な議題は  
補正予算は11月26日に成立した国の緊急総合経済対策に呼応し、追加補正。総額277億5500万円。補正予算の財源は地方交付税36億円、国庫支出金203.7億円、繰入金7.3億円、県債16億8600万円。予算は雇用確保61.7億円、子育て支援33.4億円、医療介護の充実52.6億円、社会基盤整備99.6億円。県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例で住宅手当を廃止し、期末手当を0.15%下げた。静岡県もつくり県民税条例を平成27年度まで延長した。(県民一人当たり400円の納税している。)建設事業等に対する市町の負担額変更(都市計画事業藤枝市変更前55,673千円、変更後57,765千円)

## 川勝県知事報告



不適正経理について  
台風9号による被害復旧  
本県経済  
23年度当初予算編成  
地震対策  
「原子力総合防災訓練」  
もりづくり県民税  
高齢社会対策  
世界お茶まつりの成果  
富士山静岡空港

公務員の自覚が不足していたことに、改めてお詫び申し上げる。小山町中心の県被害額98億円、国の災害復旧事業採択で早く復旧。制度融資に緊急円高対応枠を創設。国の経済対策に呼応し追加提案。政策的経費全般の見直しを進め、財源不足解消と新財源捻出に取組む。「8.11を忘れない地震対策は『自身』の対策から」をスローガンに取組む。政府主催で10月20日、21日に開催。原子力防災体制の充実に努める。5年間で6千haの整備が終わる。来年以降の5年間で県民に負担を願う。『認知症サポーター』を養成。地域社会全体で日常的に支え合う体制。8.9千人の来場者。3年後の第5回は、より関係国・地域と連携強化する。4~10月まで35万人、搭乗率64%、積極的に就航先と交流拡大を図る。

## 策定中の静岡県総合計画

12月議会で各常任委員会で協議し、2月議会で承認予定  
富国有徳の理想郷『ふじのくに』づくり  
基本理念  
ふじのくにの徳のある人材の育成  
ふじのくにの豊かさの実現  
ふじのくにの自立の実現

11/16開催の県内社会福祉関係団体・医療関係団体からの要望を自民党県連厚生問題対策委員会としてとして12/10石川健康福祉部長に要望書を提出しました。  
(地域福祉を支える仕組みづくり、介護福祉のイメージアップ、医師・看護師不足対策など)

## 厚生委員会 12/2 12/14~15

12月2日(木)全常任委員会を開催し、静岡県新総合計画について各会派からの修正案などの意見を各委員会で協議した。私の意見は、「この数年、150~160億円毎年のように健康福祉部予算が増加している。10年計画の総合計画には予算が明示されていない。企業の計画では考えられないが」という問いに対し、当局は予算計画は必要と認識しているが、福祉予算は国の政策に関係しているとして、答えられなかった。この計画書は各項目に4年後の目標数値はある。しかし、具体的な施策手段は明示されていないため、総花的であり魅力のない総合計画書と感じた。

落合県議の主な質問 志太榛原担当の静岡中央児童相談所を藤枝市に移転して欲しい。  
こども家庭課長の答弁 志太榛原地区の市町の了解を求めながら努力していく。

生活保護の状況	22年10月現在、25,416人、18,939世帯、毎年15%増加。全国では190.7万人、137.8世帯。
保育所入所状況と待機児童数	保育所数504か所、定員51,108人、入所児童53,084人、待機児童1,045人(藤枝市31人)。
児童虐待・DVの現状と対応	児童虐待相談件数9月現在、721人(21年同期581件)、一時保護237人(209人)、DV相談件数1,363件。
高齢者虐待防止法調査結果	虐待件数21年626件、虐待者は息子45%、娘14.6%、夫14%で身体的虐待61%、心理的35.5%。
介護職員雇用支援事業	12月補正8千万円、3年間で計7.2億円。介護福祉士コース100人分実施。1人2年間、上限560万円。
障害者自立支援法等一部改正	22年12月改正法成立。利用者負担が応能負担を原則。発達障害も対象。障害児種別施設を一元化。
障害者スポーツ大会開催	第10回千葉大会。参加選手3,500人、役員2,000人。成績メダル獲得、金32、銀27、銅23、計82個
県内病院の医師確保状況	22年6月現在で医師4,149人、必要医師5,010人で861人不足。研修医定員237人に対し158人が決定。
子宮頸がん等ワクチン接種緊急臨時事業	子宮頸がん予防・中1年女子に3回接種。ヒブ(インフルエンザ菌b型)生後2~6か月に接種開始、3回接種。